

# 平成30年度 IT産業海外展開支援事業 ローカライズ支援補助金

## 1 目的

札幌市のIT産業の活性化と持続可能な成長を促進するため、海外ニーズに対応するITを活用した製品・サービスの開発を支援し、海外市場への販路拡大を推進することを目的とする。

## 2 補助対象者

札幌市内に本社又は商業登記上の本店を有する中小企業者(個人含む)

## 3 補助対象事業

補助金の交付の対象となる事業は、札幌のIT産業の海外における販売拡大を図るため、IT製品のローカライズを行って海外に流通させる事業とする。

## 4 補助金額

補助対象経費の1/2以内、上限額100万円

## 5 補助件数

5件(予算500万円の範囲内で実施)  
(平成30年度採択案件)

- ・「食品製造加工業向けシステム」アジア対応(株式会社サンクレエ)
- ・クラウドEDIシステムのローカライズ及び多言語化開発の実施(株式会社イークラフトマン)
- ・店舗管理クラウドサービスWinBoard.bizベトナムローカライズ(株式会社イー・カムトゥルー)
- ・VRライブ・コミュニケーションサービス「バーチャルキャスト」ローカライズ(株式会社バーチャルキャスト)

## 6 補助対象経費

本事業実施に係る以下の経費

- 調査費 ■機器費 ■海外マーケティング費 ■旅費 ■外注費 ■人件費<sup>※1</sup>
- その他市長が適当と認める経費

※1 補助対象経費合計額の1/2未満までを補助対象として認める。  
また、本事業に直接関与する従業員の直接作業時間に対するものに限る。

## 7 募集期間

【1次募集】平成30年4月27日～5月25日

【2次募集】平成30年7月2日～8月3日

## 8 申請の受付・問い合わせ

札幌市経済観光局国際経済戦略室 IT・クリエイティブ産業担当課  
〒060-8611 札幌市中央区北1西2丁目 札幌市役所15階  
電話:011-211-2379 FAX:011-218-5130 E-Mail:it.contents@city.sapporo.jp

※平成31年度事業詳細は、市ホームページなどで公開する公募要領等をご確認ください。

ちょっと間違った未来で、幸せな人を増やす

# 株式会社バーチャルキャスト

- 所在地／札幌市中央区北1条東4丁目1-1 サッポロファクトリー1条館
- TEL／011-271-0708
- 代表者／代表取締役社長 松井 健太郎
- 設立／2018年(平成30年)7月27日 ●従業員数／70名
- URL／<https://virtualcast.jp>

ゲームやアプリを開発する株式会社インフィニットループとインターネット上に様々なデジタルコンテンツを展開する株式会社ドワンゴの共同出資により設立。バーチャルキャストを始めとするVRシステムの普及を目指す。

## Vtuber向けの動画作成、コミュニケーションツールの開発、運営 ～Cool Japanの流れに乗って変身願望を刺激～

### 好きなキャラクターに変身!

社名にもなっているバーチャルキャストとは、自分のバーチャルキャラクター(以下、アバター)が出演するライブ番組をインターネット配信し、視聴者や他のアバターと交流するシステム。ユーザーは、バーチャルキャストと、VR(仮想現実)の舞台を作り出すのに必要なSTEAM®VRをPCにダウンロードし、ヘッド用とハンド用のVR端末を装着する。アイドル系や動物など自分の好みで生み出したアバターのトークや動作は、すべてユーザーの言動通りとなる。このように、VRを使用して動画を制作・配信する人々をVtuber(ブイチューバー)と呼び、2年ほど前に日本で誕生した。現実の自分ではなり得ないキャラクターになれ、変身願望を満たすことから、人気急上昇中である。

### ネット文化のユニーク性を伝える

バーチャルキャストは、特にアジア圏での注目が高まっていることから、中国語と英語のインターフェイス(操作画面など)を公開した。

多言語化する際の一番のハードルは「ネットスラング」。例えば、バーチャルキャストでは、他のアバターの番組に乱入することを「凸する」といい、ユーザー交流を促進する魅力の一つで、「突撃する」の「突」→「凸」の造語である。漢字ならではの言葉遊びである

ため、英語で表現するのは難しい。単なる取扱説明書の翻訳(ローカライズ)とは異なり、ネット世界の日本文化をカルチャライズする(その国の文化や言語背景を取り入れ、受け入れられやすい様式に調整する)ことが、世界進出の鍵となった。

インターフェイスのカルチャライズにより、国内だけでなく、中国語圏や英語圏でのダウンロード数大幅UPを狙う。将来、技術の進歩により、バーチャルな世界での同時通訳が可能になれば、自宅にいながら世界中のアバターと交流できる日が来るかもしれない。

### 実現不可能な“憧れ”、 仮想世界で叶えよう!

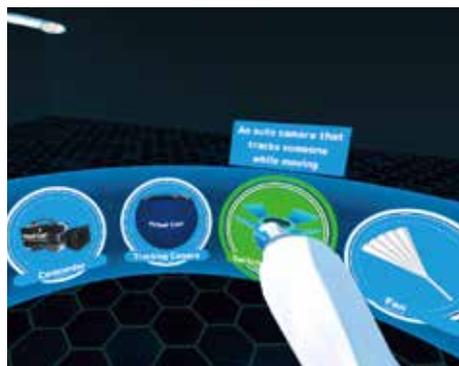
多言語インターフェイスは、バーチャルキャストの営業強化に必要不可欠ですが、なかなか手を付けられずにいました。補助金は、コスト負担を軽減してくれただけでなく、任務遂行の後押しもしてくれました。



取締役CVO  
山口 直樹



▲“リアル”な女の子が歌う→VRのステージでアバターも歌う



▲英語版のインターフェイス